2006/10/22

モンゴル国契丹大字岩壁銘文について

武内康則　作成

※　孫伯君「蒙古国肯特省契丹大字刻石考釈」『世界民族』2006 年第 4 期　より

1．概説

蒙古国肯特省的莽鼐(Möner)県境内薩爾巴日(Salbar)山中で発見。

近くに契丹の都市の遺跡

→当時の蒙古国科学委員会委員の巴図吾契日(Batuvčir)は契丹字と推測。

林欽(Yöngsiyebu Rinčen)、康丹(Daniel Kane)などの研究がある。

4 行 25 字。大康 10 年(1084 年)。年号の解読できる契丹大字資料は非常に珍しく貴重。

当時阻卜が住んでいた。遼王朝と阻卜の関係。

2．歴史背景

3．銘文釈読

利用可能な字典が残っていないため、契丹大字の解読は困難。

字形の近い漢字や女真文字を利用する。

契丹大字の漢字の借用(聶鴻音, 1999)

1. 漢字をそのまま借りる。"皇帝"など。
2. 画数の比較的少ない漢字を基礎にして、筆画を加える。"大"→""など。
3. 画数の比較的多い漢字を基礎にして、筆画を減らす。"馬"→""など。
4. もとの漢字の筆画を改変する。"曰"→""など。

契丹大字は漢字を増減させて作られたが、大部分の文字は字義を知ることができない。

- 漢字が表音字として用いられたか、表意字として用いられたか確認できない。
- 契丹文字と漢字との字形の差が大きく、字源を確認できない。

参考文献

聶鴻音(1999)「契丹大字解読浅議」『民族語文』1999 年第 4 期.

孫伯君(2006)「蒙古国肯特省契丹大字刻石考釈」『世界民族』2006 年第 4 期.

松川節(2005)「モンゴル国ヘンティ県における契丹・女真文字岩壁銘文 4 件」第 4 回契丹文字研究会発表資料.

一



《女》　“十六”義

《女》　“知暁”義

大字音価表 83

御　《女》p.209”御”音義
史　“弟”音　劉(1993)
都　“都統”義? 劉(2004)
統　《女》p.14”都督”音義
　　cf.大字音価表 100
《女》p.35”斡,都,兀,忽”音
《女》p.208”本”音

二



《女》　“他”音

《女》p.114”奴”音

“史,私”音　劉(1993,98)
《女》p.93“史,士,師”音
《女》p.50”頭,首”義
《女》p.11”根,本,頭,首”義
率領
大字音価表 83

《女》p.120”古”音

三



“州,郡”義? 劉(1998)
漢字“州”を横にする

《女》　“聖”義

“于越”音? 金(1991)
大字音価表 172
《女》p.181”左”音義
“左”音→”阻”音
《女》　“卜”音

四



大康十年五月日

劉(1982)義

《女》p.178”年”義